

## 「わくわく算数・数学教室」4日目 ～SPさんがいてくれるから頑張れる！～

わく算、4日目も無事に終わりました。先週参加したSPさん、土日はゆっくり休めましたか？子どもたちのエネルギーに負けないようにたっぷり寄り添って、さらに来てくれる子どもたちが「楽しかった」と帰れるように、どのSPさんも毎回試行錯誤してくださっています。頭の中はきっとフル回転。毎日クタクタなのではないでしょうか。教師の仕事は体力仕事だと言われています。しかし、休むこともとっても大事！子どもたちの体調もですが、自分たちの体調にも気をつけて、明日からの後半戦も力を貸してくださいね。



素敵な笑顔！こんなに笑顔で算数を教えてもらえるなんて……子どもたちは幸せです。



SPさんは諦めません。最後まで、分かるまで、根気強く寄り添ってくれます。だから頑張れます。



ウィークリーSPさんの席を見てみると、とても落ち着いています。その違いはいったい何でしょうか……？

今日が初参加のSPさんもいました。担当する子が、1対2～3だと“少し大変な子”（勉強はよくできるのですが「自分を見てほしい」「自分のペースに合わせてほしい」気持ち強い子です。）でした。わく算が始まって少し経ってからふとその机を見ると、担当のSPさんが交代しています。あれ？と思い、後で話を聞いたら、「自分の担当する子と今日が初参加のSPさんの担当の子の様子を見て、交代した方が上手くいくかも？と思い、声をかけました。」と話してくれました。SPさん（教師側）も“人”、子どもも“人”です。当然、合う・合わないもありますし、経験年数（回数）によってもその場その時の“適材適所”があります。（だから現場でも、“チーム学校”で動きます。）それをすぐに見取って対応してくれたおかげで、あの時間、その机の学習の質が上がっていたように感じます。交代を決めたSPさん2人とも、子どもたちの様子を見てバッチリ対応してくれました！すごいセンスを持ったSPさんが今年も来てくれています。

実は、私の娘もこのわく算に参加させていただいています。6年間、皆勤賞です。（勉強好き！では決してありません。家だと何もやりません。）その娘が今日、晩御飯を食べているときにふと「わく算はやっぱり楽しい。明日も楽しみ！」と言いました。すかさず、「何で？何が楽しいの？」と聞いてみると。「うーん……何か分からないけど楽しい。友達と一緒にできるのもだし、先生が毎回変わるのも『今日は誰かなあ』って楽しみになる。でもいちばんは、SPさんがどの人もすごく丁寧に教えてくれることかな。少人数でじっくり教えてもらえるのがいい。だから頑張れる。」と話していました。参加しているほとんどの子どもたちが、同じ気持ちなのではないかなあと感じています。普段の学校、普段の先生と違うからという新鮮さももちろんあるでしょうが、いちばんは“SPさんがじっくり教えてくれること”だそうです。家でのちょっとした小話でした♪

さて、今日もシニアSPが駆けつけてくれました。今日はなんと4人も！そのシニアSPのうちの2名が、みなさんにメッセージを書いてくれました。以下に掲載しますので、ぜひ読んでみてください。

大学を卒業以来、2年ぶりにわく算に來させていただきました。このわく算が「教員になる」と決めたきっかけだったことを思い出しました。私は元々、教員免許取得のためだけに教職課程を履修したので、大学入学当初は教員になると考えていたわけではありませんでした。（農学系の仕事をしたいと思っていました。）しかし、大学3年の夏、わく算に参加したことによって考えが変わりました。いろいろな性格の子どもたちが一生懸命に算数・数学に取り組む姿と、分からなかった問題ができるようになって表情が明るく変わる様子を体感すると、何か湧き上がる思いがありました。今日はたくさんのSPさんが一生懸命に児童と向き合う姿を見て、教員としての初心を思い出すことができた素晴らしい日でした。現在は、母校で理科を教えています。理科の中でも特に物理の範囲を教えていると、**小学校の算数の時間がとても重要**だと毎日実感しています。「このわく算という場所がもっと広がっていくと素晴らしいなあ。」と、心から思います。 【シニアSP3年目 I先生】

本日はシニアSPとしてわく算に参加させていただきありがとうございました。大学1年生の冬に初めてわく算に参加した時のことを思い出しました。私が初めて担当した児童は、当時小学3年生で元気な女の子でした。その子は現在中学2年生で、「中学でも元気に過ごしているのだろうなあ。」と懐かしくなりました。わく算では、いろいろな子どもたち、SPさん、中村先生というレジェンド級の先生、コーディネーターの緒方さん、毎回お昼ごはんをご馳走してくれた太っ腹な先輩方（笑）など、**さまざまな人との出会いがあります**。卒業した今でもSP同士の繋がりはあり、切っても切れない関係になっています。大学生の間はもちろんですが、卒業後も何でも話せる関係です。ぜひ！**ここ**  
**でのご縁を大切にしてください。** 【シニアSP3年目 N先生】

また、午後の部の終わりの打ち合わせでは、シニアSP2名がこんな話もしてくれました。やはり、実際に経験している先輩の話は響きますね。こんな話、他ではなかなか聞けないと思います。素敵なお話をありがとうございました。

- 子どもたちは、その子その子によってももちろん、日によっても全然違う。そんな子どもたちが集まってクラスができているのだと思った。当然、一人一人対応も違ってくる。今日見たSPさんたちはそれができているなあと思った。「学校っていいなあ」と子どもたちが思ってくれるような教員になってほしいと思う。応援しています！
- 教育の面白さはここ（わく算・ウィークリーSP）で体感した。そして、今がある。子どもたちのちょっとした表情の変化や成長を励みに、今は教員生活を毎日楽しんでいる。
- 今ここにいるみなさん全員が学校の先生になるわけではないと思うが、ここでの経験を大事にして人生の選択をしていってほしいと思う。